

平成28年度

事業実施報告書



公益財団法人

やまがた健康推進機構

事業報告

I 概要

平成28年度は、第1次中期運営計画の3年目の取り組みを着実に進めることを基本に「健康長寿やまがた」の実現に向けて事業を展開した。

公益事業の柱の1つである「広報・普及啓発事業」では、自治体等が開催する健康づくりの啓発イベント等に参加し、積極的な啓発活動を行った。また、リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016鶴岡、ピンクリボン運動に加わり、連携して事業を進めるとともに、9月から10月にかけて、結核予防会、日本対がん協会が全国的に展開する「がん・結核受診率向上キャンペーン期間」において、両団体の山形県支部として、県民の皆様に対し、がん予防や検診の重要性等の健康情報の発信を行った。なお、全県的なイベントとして「やまがた健康フェア」が開催されることとなったことから、これまで行ってきた類似の独自イベントは中止することとした。

「検診事業」では、受診者の皆様に精度の高い検診を提供するため、山形検診センターにおいて、新たにDXA法による骨密度測定検査を開始し、また、子宮頸がんの早期発見につながるHPV併用検診について、事業所担当者会議等において専門医師の講演をいただくなど、その普及拡大に努めた。更に、関心が高い乳がん検診については、山形検診センターのレディース検診と一昨年から開始した時間外乳がん検診において、超音波検査を拡大実施した。また、マンモグラフィ読影医師の確保が困難な最上検診センターの読影について、高速ネットワーク通信を活用した読影システムを整備し、山形検診センターにおいて、専門医師による遠隔読影の運用を開始し、検診精度の維持、向上に努めた。

一方、胃がん検診については、受診者の減少に歯止めがかからず、主要な検診の一つである人間ドックについても受診者の伸びがわずかになるなど、伸びの鈍化傾向が続いている。そのため、各検診センターにおいて受診者拡大のための目標値を設定し、人間ドックの事前勧奨、未受診者勧奨、事業所訪問などの渉外活動を展開したが、山形検診センターなどでは、平成28年度の受診者計画人数が未達成となるなど、厳しい環境が続いている。

このような中で、経営面では、厚生労働省による胃がん等の検診に関する指針の見直しの影響を受けて、受診者が大きく減少することが懸念されたことから、検診車両等の大規模更新を先送りし、長期性預金を積立てるなど経営の安定化のための対策を進めた。

また、指名業者選定委員会、機種選定委員会を設置し、競争性を確保した入札を実施し、できるだけ低廉な価格による取得に努めるなど、経費全般にわたって徹底的な費用の節減を行った。更に、受診者の安全確保を図るため、ドック受診者の送迎バス業務を専門の運行会社に委託するとともに、平成29年度からは血液検査に係る外部委託を拡大することとした。

最後に、受診者の皆様に対し期限切れとなる大腸がん容器を送付した事案、乳がん検診結果通知を誤って通知した事案等、事務処理の誤りが山形検診センターにおいて相次いで発生し、県民の皆様にご迷惑とご心配をおかけすることとなった。いずれも安易な事務処理による不注意が原因であり、これら、重大な事件に結びつく可能性があることを了知しうる状態にあったにもかかわらず、これらの防止対策を取ってこなかったことは大きな問題である。これら事件を踏まえ、組織全体のリスクマネジメント・危機管理体制を抜本的に見直し、体制強化に取り組むこととした。

事業の詳細は、以下のとおりである。

平成 28 年度 各種事業評価結果（一覽）

課別評価結果

| 課 名 | 達 成 | 達成比率 | 概ね達成 | 未達成 | 合 計 |
|-------|-----|------|------|-----|-----|
| 企画財務課 | 2 | 29% | 3 | 2 | 7 |
| 事務管理課 | 5 | 23% | 12 | 5 | 22 |
| 検診課 | 3 | 15% | 11 | 6 | 20 |
| 計 | 10 | 20% | 26 | 13 | 49 |

| 施策 1 広報事業の推進 | 概ね達成 | |
|------------------------|-------|------------------|
| ①テレビ、新聞等によるCMの実施 | 達 成 | 事務管理課 |
| ②県民参加型普及啓発イベントの企画、実施 | 達 成 | |
| ③児童、生徒に対する健康教室、がん教育の推進 | 概ね達成 | |
| ④健康情報誌、ポスター等の作成、配布 | 達 成 | |
| ⑤研修会、講習会等の開催と職員の派遣 | 達 成 | 主：検診課 副：事務管理課 |
| ⑥ホームページの充実、強化 | 概ね達成 | 事務管理課 |
| ⑦その他 ・ 広報教育媒体の貸出し | 達 成 | |
| ・ 健康づくり支援 | 概ね達成 | |
| ・ 本部等構成団体との連携 | 達 成 | |
| ・ 広報、啓発予算の確保 | 未 達 成 | |

| 施策 2 調査研究事業の推進 | 概ね達成 | |
|---------------------------------|------|------------------|
| ①検診・検査データの集計分析と実施主体が必要とするデータの提供 | 概ね達成 | 主：検診課 副：企画財務課 |
| ②外部研究機関等への研究事業協力 | 概ね達成 | 企画財務課 |
| ③各種学会等における職員の研究発表 | 達 成 | 検診課 |

| 施策 3 検診受診率と精密検査受診率の向上 | 概ね達成 | |
|-----------------------------|------|-----|
| ①検診申込者への事前連絡と検診未受診者への受診勧奨強化 | 概ね達成 | 検診課 |
| ②特定保健指導の利用者拡大 | 概ね達成 | |
| ③精密検査受診率向上対策の展開 | 概ね達成 | |

| 施策 4 満足度と質の高い検診サービス等の提供 | 概ね達成 | |
|---------------------------|-------|-----|
| ①受診者ニーズに対応した検診サービスメニューの充実 | 未 達 成 | 検診課 |
| ②スムーズな検診と検診所要時間の短縮 | 概ね達成 | |
| ③接遇の向上 | 概ね達成 | |
| ④検診結果通知の迅速化 | 概ね達成 | |
| ⑤女性に優しい検診環境の整備 | 未 達 成 | |
| ⑥病院との役割分担の整理 | 未 達 成 | |
| ⑦自治体、事業所への健康づくり施策への支援 | 概ね達成 | |

| | | |
|------------------|------|------------------|
| 施策5 検診の精度管理と事業評価 | 概ね達成 | |
| ①精度管理の維持・向上と事業評価 | 概ね達成 | 検診課 |
| ②読影体制強化 | 達成 | 主：検診課 副：企画財務課 |
| ③リスクマネジメント体制強化 | 未達成 | 事務管理課 |

| | | |
|---------------------------|------|-------|
| 施策6 ICTの積極的な活用と新しい検査技術の導入 | 達成 | |
| ①医療情報ネットワークへの参加 | 達成 | 企画財務課 |
| ②基幹システムの更新 | 達成 | |
| ③新しい検査技術の導入 | 概ね達成 | 検診課 |
| ④情報セキュリティ対策強化と情報の公開 | 概ね達成 | 事務管理課 |

| | | |
|--------------------|------|------------------|
| 施策7 計画的な検診機器等の整備更新 | 未達成 | |
| ①X線機器の完全デジタル化への移行 | 未達成 | 主：企画財務課 副：検診課 |
| ②固定資産等の計画的な取得、更新 | 概ね達成 | 企画財務課 |
| ③検診車の効率的な配置 | 未達成 | 検診課 |

| | | |
|--------------------------------------------|------|-------|
| 施策8 安定的な収入確保対策 | 未達成 | |
| ①受診者数等の数値目標の設定等 | 未達成 | 検診課 |
| ②利用者数、受診者数の増加対策の推進 | 未達成 | |
| ③積極的な渉外活動の推進 | 概ね達成 | |
| ④競争性を確保した公益法人としての適正な検診料金の在り方と競争入札に対する方針の検討 | 未達成 | 企画財務課 |
| ⑤維持会、複十字シール募金等寄付金拡大 | 未達成 | 事務管理課 |

| | | |
|--------------------|------|-------|
| 施策9 効率的な業務の執行 | 概ね達成 | |
| ①効率性の高い検診の確保 | 概ね達成 | 事務管理課 |
| ②組織間の情報伝達と情報共有 | 概ね達成 | |
| ③経費節減に向けた取り組みの強化対応 | 概ね達成 | |
| ④財務関係の目標値の設定 | 概ね達成 | 企画財務課 |

| | | |
|----------------------------|------|-------|
| 施策10 変化に対応できる柔軟な組織づくりと人材育成 | 概ね達成 | |
| ①組織見直しと職員数の管理 | 概ね達成 | 事務管理課 |
| ②医師・専門技術職の確保対策の推進 | 概ね達成 | |
| ③嘱託職員の在り方検討 | 概ね達成 | |
| ④公益法人としての適切な給与制度の検討 | 未達成 | |
| ⑤計画的な人材の育成 | 概ね達成 | |
| ⑥働きやすい職場づくり | 概ね達成 | |
| ⑦歳王噴火の場合の災害対応計画の策定 | 未達成 | |

《記入内容》

| | | |
|---------|-------------|-----------------------|
| 各施策名 | 各施策の達成状況 | |
| 施策内の各事業 | 施策内各事業の達成状況 | 担当部署 主：主務 副：副主務 |

II 各種事業

施策1 広報事業の推進

【事業推進の基本的考え方】

- ・様々な機会、媒体を活用し県民に対して食生活や生活習慣の見直し、がん予防、検診の重要性等に関する知識の普及啓発を行います。
- ・事業推進にあたっては、広報目的を明確にし、費用対効果の観点も十分に検討しながら、効果的なものとなるよう検証していきます。

【主な目標】

| | |
|--------------------|--------------------------------|
| ・県民参加型普及啓発イベント | H30 500人以上 (H25 180人) |
| ・県民参加型普及啓発イベント | H29～ 実行委員会方式への見直し |
| ・若年者に対する健康、がん教育の推進 | H30 20校以上 (H25 0校) |
| ・健康まつり等への参画 | H30 10ヶ所以上 (H25 5ヶ所) |
| ・出前講座の開催 | H30 年間 15回以上 (H25 6回) |
| ・ホームページ閲覧数 | H30 年間 15,000件以上 (H25 12,000件) |

【評価：概ね達成】

- ・機構独自イベントである「みんなで広げよう！健康の輪」については、実行委員会方式による全県的な広がりのある開催と、多数の県民参加を目指してきたが、山形県において類似の「やまがた健康フェア」を開催することとしたことから、当該イベントに実行委員として参加することとし、独自イベントは中止。なお、平成28年度の健康フェアについては、山形検診センターにおける事務処理ミス等を踏まえ参加自粛。
- ・テレビによる広報については、費用対効果の観点からの検証が未達成となっており、当面見送り。
- ・子供たちへのがん教育の推進については、当初、独自実施することを検討してきたが、未着手のまま年数が経過し、進展が見られないため、教職員等に対する機運醸成のための講演会の開催等の後方支援に回ることとして方向を修正。
- ・広報啓発予算を平成25年度並みにすることについては、機構の経営状況に鑑み、また、効果的な啓発手法等の検討が進まないことから、予算額の確保は未達成。
- ・防煙教育用の児童へのパンフレットの配布については、全国的にも貴重な事業であり、内容を充実して実施。各検診センターにおける小規模なイベント活動、健康情報誌の作成、配布、タイムリーなホームページの更新、新たなSNS手法としてフェイスブックを開始、研修会、講習会等の実施については、事業を順調に実施。
- ・新たな広報・啓発活動の事業展開を探るため、全国の都道府県支部の調査を行ったが、方向性の整理ができないままとなっている。今後、効果的な啓発手法等を検討する必要。
- ・まめの会については、全国組織への参加団体もわずかとなり、新規の加入者も少なく、事業も親睦団体としての活動にとどまっている。今後、組織の活性化のための検討も含め、抜本的な検討を行う必要。
- ・山形県結核成人病予防婦人団体連絡協議会についても、事業の活性化が望まれる。また、全国的な活動として実施されている知事表敬訪問については、知事又は副知事への表敬訪問ができるように調整を進める必要。
- ・県民に対する健康情報の発信や健康診断の呼びかけ等の普及啓発事業は、公益法人として極めて重要な事業であり、効果的な手法を早期に検討決定し、情報発信をしていく必要。
- ・次年度に向けイベント啓発の内容を検討する必要、特に次年度は、県主催の「がん検診受診率向上キャンペーン」が9月～10月頃に展開される予定であり、併せて重点的な啓発活動を実施していく必要。

①テレビ、新聞等によるCMの実施 【評価：達成】

- ・新聞3紙（5回）に各イベントやキャンペーンの周知広報にあわせ受診勧奨を掲載

| 掲載月 | 掲載数 | 内 容 |
|-----|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5月 | 1回 | 「世界禁煙デー」にあわせ、周知及び検診受診を呼びかけた |
| 8月 | 2回 | 「がん征圧月間、結核予防週間」の周知及び検診受診を広く呼びかけた |
| 9月 | 2回 | 「がん征圧月間、結核予防週間」の周知及び検診受診を広く呼びかけた （置賜管内1市3町の広報誌にも掲載） 「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間」にあわせ、知識啓発と検診受診を呼びかけた |

②県民参加型普及啓発イベントの企画、実施 【評価：達成】

- ・啓発イベントへの参加は、以下のとおり

| 開催月 | 開催イベントと実施概要 |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8月 | <p style="text-align: center;">リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 鶴岡（第2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡公園疎林広場で2日間開催、実行委員として参画 |
| 9月 | <p style="text-align: center;">普及啓発キャンペーン（がん征圧・結核撲滅・受診率向上キャンペーン）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イオンモール山形南（無料骨密度測定、無料クーポン券子宮8枚・乳12枚配付等）、鶴岡市国際交流センター、新庄市民プラザ、ヨークベニマル米沢成島店、マックスバリュ南陽店（健康リーフレット、クリアファイル、ポケットティッシュ等を配布）等各検診センター単位で企画実施、来場者又は啓発パンフレットの配布者数は延べ1,260名 |
| 10月 | <p style="text-align: center;">やまがたピンクリボンフェスタ 2016（第10回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまがたピンクリボン運動に実行委員として参画。7月にプレフェスタを東根市で、9月に日本一の芋煮会フェスタで啓発活動、本フェスタ2016を10月に山形テルサを主会場とし開催（約400人参加） |

③児童、生徒に対する健康教室、がん教育の推進 【評価：概ね達成】

- ・防煙教育用パンフレット「タバコと健康」を県内中学校にアンケート調査、希望のあった29校、約1,900部、県内市町村教育委員会及び各教育事務所に配布。（4年目）
- ・防煙教育用パンフレット利用のアンケートの結果、各学校の教育資料として活用されている等、配布の継続の方向性を確認できたが、配布希望校が減少している。関心がもたれるパンフレットの作成などを検討する必要。
- ・がん教育は、未着手のまま年数が経過し、独自実施から大きく後退し、機運醸成等の後方支援の方向に転換。計画的な事業の進捗管理を行う必要。

④健康情報誌、ポスター等の作成、配布 【評価：達成】

- ・関係者による編集委員会を開催することとし、年3回開催。機関紙「しあわせ」を年2回各5,000部発行し、自治体、事業所等に配布。
- ・がん征圧月間、結核予防週間のポスターを自治体や学校等に配布。また、米沢市内循環バス内、フラワー長井線の宮内・荒砥駅舎、山形駅東西自由通路、山形県庁内エレベーター内に掲示するなど場所を拡大し周知啓発。
- ・各種パンフレットについては、「タバコと健康」のパンフを自治体等に配布する等、延べ138箇所、65,800部を配布、また、各種健康パンフを4種、14,000部を購入し関係機関等に配布。
- ・フェイスブックによる広報として、時間外乳がん検診の案内、健康レシピ紹介（30回）等をタイムリーに掲示。
- ・機関紙は、検診機会のお知らせ等、受診率向上を重点的に行うなどの見直しが必要。
- ・引き続きポスター配布先を含め、整理検討が必要。
- ・山形以外の検診センターからの情報提供を行うことを検討する必要。

⑤研修会、講習会等の開催と職員の派遣 【評価：達成】

・市町村及び事業所向け研修会は、以下のとおり

| 所属 | 内 容 |
|----|-------------------------------------------------------------------------------|
| 山形 | 健康推進担当課長等会議（より良い子宮頸がん検診を目指して 12 月） 健康管理担当者研修会（子宮頸がんHPV併用検診の受診拡大について 3 月） |
| 庄内 | 市町村及び事業所担当者に向けた健康支援セミナー （講演：糖尿病について、講話：食生活改善のポイント、骨密度測定体験） |
| 最上 | 市町村課長会議（高血圧の講演 11 月） 市町村担当者会議（検診、精検受診率向上の意見交換 2 月） |
| 米沢 | 置賜地区健康管理推進連絡協議会（乳がん検診について 6 月） 事業所健診担当者研修会（企業におけるメンタルヘルス、新たな胃がん検診の考え方 3 月） |
| 南陽 | 置賜管内市町担当課長会議（新たな胃がん検診の考え方 10 月） 市町担当者会議（肺疾患による死亡を減らすには？ 3 月） |

・健康まつり等イベントの参画は、以下のとおり

| 所属 | 内 容 |
|----|-----------------------------------------------------------------------------|
| 山形 | 東根市健康まつり（骨密度測定）・天童市健康まつり（健康相談、啓発パンフレット配布） |
| 庄内 | 遊佐町健康まつり（稲川地区・蔵岡地区・遊佐地区・吹浦地区） （がん検診啓発パンフ配布・未受診者へのチラシ配布・媒体説明等） |
| 最上 | 新庄市民健康福祉まつり・最上町健康福祉まつり・真室川町健康福祉まつり・大蔵村健康の つどい（がん検診啓発パンフ配布・フィルム等掲示・媒体説明等） |
| 米沢 | 米沢市衛生組合連合会万世支部健康教室（広報媒体展示・講話等） |

・出前講座は、各センター保健師・管理栄養士が山形 28 回・庄内 7 回・最上 2 回・米沢 3 回・南陽 2 回
合計 42 回、約 1,300 名参加実施。（前年度 33 回）

⑥ホームページの充実、強化 【評価：概ね達成】

- ・ホームページの充実として、タイムリーな健康情報や時間外乳がん検診の案内等を随時掲示。
- ・年間アクセスは 12,900 件、更新回数（健康情報）11 回。
- ・メールマガジンについては、手法の古さから利用者が伸びず 3 月に廃止、今後はホームページ及びフェイスブックによる広報に注力。
- ・独自イベントの中止等の影響もあり、ホームページの閲覧総数は前年度比で減少。今後とも閲覧者の関心が高い情報等を提供していく必要。
- ・モバイル端末からのアクセス対応を検討する必要。

⑦その他

◇広報教育媒体の貸出し 【評価：達成】

- ・健康まつり文化祭等、事業所・学校の健康教室等にパネル、DVD等の広報教育媒体の貸出し、25 団体、約 3,300 名の方々に利用、ご覧いただき、疾病予防や健康意識の向上等を啓発。
- ・貸出先等が必要とする媒体の調査等を実施し、整備する必要。

◇健康づくり支援 【評価：概ね達成】

(1) 山形県結核成人病予防婦人団体連絡協議会

「山形県婦人連盟」、「山形県 J A 女性組織協議会」、「山形県商工会女性部連合会」の 3 団体が集い、結核撲滅・がん征圧を目指し設立。「家族の健康は主婦の手で」を合い言葉に、結核及び各種疾患予防の普及や検診の受診勧奨などを婦人層に広く啓発を図ることを目的に活動を行っており、その諸活動に対して支援。

- ・12 月山婦協全体研修会（天童市）で開催。
- ・各地区ブロック研修会を 4 回開催、結核撲滅及びがん征圧の普及啓発、婦人層の検診促進の研修等に、延べ約 283 名が参加。
- ・県知事の表敬訪問は中止。

(2) 山形まめの会（術後者の会）

検診・医療機関等で疾患を発見され手術を受けられた方の集まりで、相互の情報交換や啓蒙活動を目的に設立。地域行事や研修会などさまざまな場において、「早期発見、早期治療の大切さ」を積極的に訴え、各種疾患による犠牲者を少なくするための諸活動に対して支援。

- ・7月第36回山形まめの会総会（山形市）で開催。
- ・7月リレー・フォー・ライフジャパン2016鶴岡にサバイバートークとして2名参加。
- ・各支部単位の総会並びに情報交換会を、年9回実施、延べ約57名が参加。

◇本部等構成団体との連携 【評価：達成】

・関連機関と連携し、検診機関を取り巻く環境変化等の情報をいち早くキャッチする等、情報共有に対する連携を引き続き強化する必要。

(1) 公益財団法人結核予防会との連携

結核予防会が作成した結核予防週間ポスター1,100部を、市町村・医療機関等関係機関に配布し周知啓発。

(2) 公益財団法人日本対がん協会との連携

日本対がん協会が作成したがん征圧月間ポスター1,200部を、市町村・医療機関等関係機関に配布し周知啓発。

(3) 結核予防会、日本対がん協会が作成した機関紙「健康の輪、複十字誌、対がん協会報」

及び啓発パンフレット等を検診実施主体や関係機関等に配布

(4) 結核予防会、日本対がん協会や関係機関が主催の会議

- ・10月結核予防会東北・北海道ブロック会議。（仙台市）
- ・11月日本対がん協会東北・北海道ブロック会議。（盛岡市）

◇広報・啓発予算の確保 【評価：未達成】

- ・独自の大規模イベントを中止、テレビ広報を中止したことから、関係の予算は大幅減少。
- ・経営状況も踏まえながら、効果的な新たな啓発手法の検討を早期に行い事業を検討していく必要。

施策 2 調査研究事業の推進

【事業推進の基本的考え方】

- ・ 検診、検査データの集計、分析等を行い、検診実施主体等に提供するなど有効活用に努めてまいります。
- ・ 各種調査研究活動を積極的に行い、質の高い検診事業を展開します。

【主な目標】

- ・ 検診等データ集計分析、情報提供 毎年度
- ・ 職員の研究発表 毎年度 5 題以上 (H25 5 題)

【評価：概ね達成】

- ・ 2 健康保険組合のデータヘルス計画の保健指導に協力、外部研究機関等への検診・検査データの提供先が1か所増、各種学会における職員の研究発表5題以上のところ6題発表。事業年報発刊が遅延
- ・ 当機構は、県民の健康診断結果に関する膨大で貴重な情報を保有しており、学術的にもその活用が望まれるが、研究事業への取り組みはこの間ほとんど進まず、施策の広がりが見られない。
- ・ 今後、他の研究機関等での活用、当機構自らによる研究事業等に繋がる検討を進めていく必要。
- ・ 職員の研究発表については、内部に審査会等を設けるなどにより一定程度以上のレベルを確保するとともに、少なくとも1題以上は全国組織の学会での発表とするなど、質の高い研究発表につなげる必要。

①検診・検査データの集計分析と実施主体が必要とするデータの提供 【評価：概ね達成】

- ・ 事業年報は、経年変化がわかる構成等の見直しを行ったが、平成27年度版が年度内に発刊できず、次年度に遅延。
- ・ 一部見直しはされているが、前例踏襲の作業が続いている。編集者が1人で取りまとめ作成の作業をしていることから、今後は編集委員会等を設置し、掲載項目の整理、内容の充実等について検討する必要
- ・ 検診データが十分活用されておらず、PRと積極的なデータ提供が必要。

②外部研究機関等への研究事業協力 【評価：概ね達成】

- ・ 研究機関等への協力として、J-START に対して実施協力。
- ・ 検診・検査データを次のとおり提供。

| 提供先 | 内容 |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 山形県 | がん検診成績や実施状況のデータ提供。山形県生活習慣病検診等管理指導協議会の基礎資料となる。 |
| 山形県医師会 | 各種検診・検査のデータ提供。山形県医師会主催の各種検診中央委員会の基礎資料となる。 |
| 日本対がん協会 | 過去3か年のがん検診の受診状況のデータを提供。同会が取り組む、厚労科研費によるがん対策総合推進事業「わが国におけるがん予防と検診の新たなあり方に関する研究」のなかの「現場の実態に基づく検診のあり方に関する研究」の基礎資料となる。 |
| 日本乳癌検診学会 | 乳がん検診実態調査。同学会及びMMG精度管理中央委員会の全国実態把握の基礎資料となる。 |
| 長井市西置賜郡医師会 | HbA1c 判定区分の年次推移(5センター別)のデータ提供。同会学術研究会の基礎資料となる。 |

- ・ 今後とも、外部研究機関の要請に応じ協力。
- ・ 疾病構造の解析や疫学的資料に有効活用されるよう各有識団体等へのデータ提供の推進。

③各種学会等における職員の研究発表 【評価：達成】

| 学会名 | 内容・発表者 |
|----------------------------------|-----------------------------------------------|
| 第 53 回東北臨床細胞学会学術集会 (7 月) | 「検診センターにおける子宮がん検診の精度管理」 山形検診センター 細胞検査士 |
| 日本消化器がん検診学会東北地方会 (7 月) | 「当検診センターにおける医用画像モニタの精度管理」 山形検診センター 診療放射線技師 |
| 日本消化器がん検診学会東北地方会 (7 月) | 胃がん症例提示及び説明 庄内検診センター 診療放射線技師 |
| 日本消化器がん検診学会東北地方会 (7 月) | 一般住民の大腸がん検診至急連絡対応について 山形検診センター 保健師 |
| 第 36 回東北地区集検放射線技術部会 (2 月) | 当機構の胃がん検診の現状 山形検診センター 診療放射線技師 |
| 日本消化器がん検診学会東北支部放射線研修委員会 (2 月) | 胃がん症例提示及び説明 米沢検診センター 診療放射線技師 |

施策3 検診受診率と精密検査受診率の向上

【事業推進の基本的考え方】

- ・行政、企業等関係機関と連携し、検診受診率・精密検査受診率の向上のための取り組みを強化します。
- ・疾病予防の観点から重要視される特定保健指導の内容を充実し、利用者を拡大します。

【主な目標】

- ・未受診者への受診勧奨 毎年度実施（前年度を上回る実施）
- ・精密検査受診率向上 前年度精密検査受診率を上回る。
(H24 胃 81.4%、大腸 71.8%、子宮頸 81.5%、乳 87.1%、
肺 86.6%、腹部超音波 76.7%、前立腺 73.9%)
- ・特定保健指導利用者拡大 H30 年間 2,600 人以上 (H25 2,382 人)

【評価：概ね達成】

- ・未受診者対策については、人間ドック申込者に対する事前連絡と未受診者への電話勧奨を実施するなど例年の取り組みを実施、特定保健指導は未利用事業所に対する取り組みを強化し、一定の成果。
- ・がん検診の精密検査受診率は、平成 26 年度は、ほとんどの検診で前年度を下回ったが、平成 27 年度は一部のがん検診を除き上昇に転換。
- ・精検受診率 2%アップの目標を設定し、文書、電話勧奨により勧奨を行ったが、厚生労働省が定めた「がん検診事業評価指標値」の目標値 90%をほとんどが下回り、職域の大腸がん検診については許容値を下回った。精密検査受診率の向上は、検診機関としての当然の役割であることを認識し、健保、事業所等と連携し、対策を強化する必要。
- ・各検診センターでは、保健師が中心となり電話勧奨等を行っているが、受診率向上対策は、組織全体の目標と位置付け、組織全体で強力に進めていく必要。
- ・特定保健指導については、おおむね順調に利用者の拡大が図られており、また、上山市において、観光と連携した宿泊型の保健指導が開始されるなど新たな取り組みも動いている。平成 27 年度実績を基に支援内容を精査し、利用しやすい特定保健指導に引き続き見直しを検討する必要。また、保健指導拡大のため、当日支援の拡大と協会けんぽと連携した職域対象者の利用拡大を図る必要。

①検診申込者への事前連絡と検診未受診者への受診勧奨強化 【評価：概ね達成】

- ・17 自治体に検診未受診者データを提供し、未受診者の掘り起こしを実施。
- ・世帯調査票を受託している 1 市と協議し、次年度から未申込理由及び正確な受診者数を把握。
- ・新規受託事業所獲得のため 65 社を訪問し、15 社より新規受託。
- ・25 自治体のうち 17 自治体で人間ドック申込者に事前連絡と未受診者への電話による受診勧奨を実施。
- ・事業所等新規訪問及び電話勧奨については、次のとおり。

| | 事業所等新規訪問(単位：社) | | | | 電話勧奨による受診率 | |
|------|----------------|-----|-----|------|------------|----------|
| | 目標数 | 訪問数 | 獲得数 | 達成率 | 事前勧奨 | 事後勧奨 |
| 山形 C | 30 | 19 | 1 | 63% | 1 市 91% | 3 市町 93% |
| 庄内 C | 30 | 6 | 2 | 20% | 3 市町 95% | 実施なし |
| 最上 C | 20 | 31 | 8 | 155% | 8 市町 88% | 8 市町 68% |
| 米沢 C | 10 | 5 | 2 | 50% | 実施なし | 実施なし |
| 南陽 C | 30 | 4 | 2 | 13% | 2 市 92% | 実施なし |
| 合計 | 120 | 65 | 15 | 54% | | |

②特定保健指導の利用者拡大 【評価：概ね達成】

- ・保健指導未利用事業所 21 社を選定し受託。
- ・中断者を出さないようにするため、継続が困難な方には、利用しやすい電話支援パターンに切替え。197 名実施。
- ・特定保健指導実施状況については、次のとおり。

(単位：人)

| | 当初計画数 | 実績 | 増減 |
|-----|-------|-------|------|
| 山形C | 1,030 | 1,099 | 69 |
| 庄内C | 490 | 582 | 92 |
| 最上C | 655 | 653 | △ 2 |
| 米沢C | 195 | 220 | 25 |
| 南陽C | 295 | 276 | △ 19 |
| 合計 | 2,665 | 2,830 | 165 |

③精密検査受診率向上対策の展開 【評価：概ね達成】

- ・要精検者台帳と精検未受診者リスト等の情報を適宜実施主体へ提供し、受診勧奨を強化。
- ・個人等に対し月 2 回の夜間電話勧奨等を継続実施、3 ヶ月、6 ヶ月後のハガキ勧奨を実施。
- ・各エリアの担当課長会議及び健康管理担当者研修会等で精検受診状況等を提示し受診勧奨実施。
- ・前年度受診率 2 ポイント以上アップを目標に精検受診勧奨を行い、概ね前年度を上回り、成績は次のとおり。

平成 27 年度各種がん検診精検受診率（6 月末比較）

| | 総合計 | | 一般住民 | | 職域職員 | |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 |
| 胃がん検診 | 81.2% | 81.9% | 86.9% | 87.1% | 75.0% | 76.2% |
| 大腸がん検診 | 72.7% | 74.3% | 78.5% | 80.3% | 63.4% | 64.2% |
| 子宮頸がん検診 | 80.1% | 81.7% | 79.8% | 81.6% | 80.5% | 81.8% |
| 乳がん検診 | 88.5% | 91.6% | 88.8% | 92.2% | 87.9% | 90.6% |
| 肺がん検診 | 86.0% | 87.1% | 86.0% | 87.3% | 85.6% | 84.1% |
| 前立腺がん検診 | 74.1% | 72.9% | 75.4% | 74.0% | 68.1% | 68.8% |
| 腹部超音波検査 | 77.6% | 78.7% | 80.8% | 80.1% | 71.7% | 76.5% |

※平成 28 年度受診率は、平成 29 年 6 月末時点のものを提示予定

施策 4 満足度と質の高い検診サービス等の提供

【事業推進の基本的考え方】

- ・受診者ニーズを踏まえた質の高い多様な検診サービスメニューの充実、接遇の向上、検診結果通知の迅速化等、検診環境の整備を進めます。
- ・高度の検診機能を担っている病院との役割分担を検討し、検診機関としての今後の検診機能の方向性を整理します。
- ・自治体、事業所等の健康支援を強化し、県民の健康づくりを支援します。

【主な目標】

| | | |
|------------------------|------|-----------|
| ・オプション項目推奨マニュアル作成 | H26 | |
| ・新たな検診メニューの検討・開発 | 順次実施 | |
| ・苦情等を生かす仕組みづくり | H26 | |
| ・接遇指導者の養成と指導 | H26～ | |
| ・検診時の託児対応 | H29 | |
| ・病院との役割分担の整理 | H27 | |
| ・自治体、事業所等への健康づくり施策への支援 | H26～ | 年間 10 回以上 |

【評価：概ね達成】

- ・ 通年実施した「受診者アンケート」は回収率 60%。いただいた意見等を踏まえ改善実施。
- ・ オプション項目推奨マニュアル等により引き続き、受診者の希望等を踏まえた検診サービスを提供。
- ・ 新たな検診メニューの検討は未着手。
- ・ 検診所要時間の短縮については、検診種目別に目標時間を設定し、検診所要時間を 30 分程度短縮。
- ・ 接遇については、接遇指導員を設置して組織的に取り組んできたが、標語ポスターの掲示、アンケート調査などにより、受診者にも取り組みが見えるようになってきた。一方で、苦情等も少なくなき、また、身だしなみについても配慮が足りない場合が見られるなど、検診現場への徹底は十分ではない。平成 29 年度は、「接遇日本一」を目指した取り組みを行うこととしており、早期の事業実施が必要。
- ・ 検診結果通知は概ね 3 週間以内を確保。各検診センターにおいて、定期的に所要日数を調査し、点検していく必要。また、特殊な場合を除き、長期の日数を要している結果通知が常態化している場合は、その原因分析、対策を実施。
- ・ CT 検査機器の導入検討については、先進施設の視察、導入済検診機関に対するアンケート調査、受診者アンケート調査を行ったが、課題整理が進まず、事務的な検討案を作成することができなかった。
- ・ 女性に優しい検診環境の整備は、女性医師の確保が困難として、検討がとん挫。実現のための検討が不十分であり、責任を持った事業の推進が必要。
- ・ 託児付き検診については、需要がないとして検討が行われず。実施済みの他の検診機関等を参考に、子育て世代が受診しやすい託児付き検診の導入について自治体等と協議し、導入する必要。
- ・ 事業所等への健康づくり支援については概ね順調に業務を推進。
- ・ 事業の計画的な進捗管理がなされておらず、担当者任せとなり、未着手のまま放置されている事業が多くなっている。管理職が年度当初からの早期の着手の指示を行い、業務の進捗管理について責任を持つて行う必要。

①受診者ニーズに対応した検診サービスメニューの充実 【評価：未達成】

- ・受診者からの苦情・要望等の意見聴取のアンケートを通年で実施し、業務改善会議等で共有・検証を行い、フロアーの配置や案内表示の見直しに反映。また、苦情等に対する回答を所内に掲示。
- ・受診者ニーズに対応できるオプション項目推奨のため、問診・既往疾患を基に関連項目に繋がるマニュアルを見直し。
- ・休日検診、午後検診の需要調査については未実施。
- ・新たな検診メニュー（検診予約制度、呼吸器ドック等）の検討は未実施。
- ・全体的に未着手事業が多くなっており、未達成とした。早期の検討指示と事業の進捗管理を徹底。

②スムーズな検診と検診所要時間の短縮 【評価：概ね達成】

- ・定期的に所要時間調査を実施し、その結果に基づき検診別、実施主体別に受付時間を振り分け、施設内の混雑の緩和及び待ち時間の短縮を実現。
- ・全センターにおいて継続して定期的所要時間調査を実施するとともに検診種目別に目標時間を設定する必要。
- ・オプション項目の事前申込みや受付時間をパターン別にするなどの改善点を整理し、受付・問診の所要時間を短縮する等の必要。

③接遇の向上 【評価：概ね達成】

- ・受診者 4,604 名にアンケート調査実施。良い点は「あいさつ、言葉遣いがよい」、悪い点は「声が小さく話すスピードが速い」等が多かった。
- ・毎月接遇目標を設定し、組織全体での接遇意識の向上に取り組み、朝のミーティング等で接遇目標を確認し、職員の接遇意識を共有。
- ・接遇標語コンテストを実施し、4点の優秀作品をポスターに掲示。
- ・接遇指導者等 14 名がスキルアップのためセミナーに参加。

④検診結果通知の迅速化 【評価：概ね達成】

- ・繁忙期は一部のセンターを除き概ね 3 週間以内、冬期間及び個人申込者に対しては 2 週間の結果通知を実施。

⑤女性に優しい検診環境の整備 【評価：未達成】

- ・女性職員だけによるレディース検診日の設定、託児付きの検診等の検討は未実施。

⑥病院との役割分担の整理 【評価：未達成】

- ・CT検査機器導入に係る先進施設の視察及び県内外の 8 施設にアンケート調査を実施。
- ・山形・庄内検診センターにおいて、受診者へのCT検査の需要調査実施し、調査結果は 3,498 名に実施、受診希望者は 69%
- ・CT検査に関し、読影体制、機器、コスト等の情報収集でとどまり、課題の整理、方向性等の内部の事務的な検討が進まなかった。
- ・精密検査実施機関との連携について、情報収集及び検討未実施。

⑦自治体、事業所への健康づくり施策への支援 【評価：概ね達成】

- ・自治体、事業所への健康づくり施策への支援状況

| | 事業所等への データ提供 (単位：社) | 事後指導 (単位：名) | 出前講座 (単位：回) |
|-----|---------------------------|----------------|----------------|
| 山形C | 2 | 453 | 25 |
| 庄内C | 0 | 245 | 5 |
| 最上C | 0 | 164 | 7 |
| 米沢C | 2 | 144 | 9 |
| 南陽C | 0 | 401 | 4 |
| 合計 | 4 | 1,407 | 50 |

- ・自治体、事業所のニーズを把握し、検診データの提供、検診後の指導、専門職員による出前講座等を引き続き実施する必要。

施策5 検診の精度管理と事業評価

【事業推進の基本的考え方】

- ・ 検診委員会の評価指導、専門職の技術のレベルアップ、症例検討委員会等の継続的な開催に向けた環境整備を行い、検診の精度向上に努めます。
- ・ 医師会と連携した読影医師の確保を行うとともに、高速ネットワーク通信を活用した読影体制の構築を行い、読影環境の整備に努めます。
- ・ 人為的なミス、事故を防止するための取り組みをさらに強化します。

【主な目標】

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| ・ 外部機関による精度管理評価 | 毎年度 最上位評価獲得 |
| ・ 高速ネットワーク通信を活用した読影体制構築 | H26 将来構想策定 H29 実施 |
| ・ 事故防止対策の見直し | H27 見直し、対策決定 |
| ・ ミス、トラブルの減少 | H30 H25 件数の半減 (H25 73件) |

【評価：概ね達成】

- ・ 主として臨床の医師で構成する6つの検診委員会において、事業の精度管理、アドバイス等を得ており、確実な成果を得ている。一方で、検診委員会の案件がマンネリ化し、提出資料についても十分なものができない場合も認められる。担当任せの資料作りではなく、事前に検診委員会全体の審議内容について、組織的に整理し、決定する必要。
- ・ 外部機関による精度管理評価における最上位評価を目指した取り組みを引き続き強化する。また、厚生労働省が定める「がん検診事業評価指標」に基づく目標値及び許容値に基づく評価を確実に実施する必要。
- ・ 読影医師の確保が困難な地域と山形検診センターで、高速ネットワーク通信を活用した読影を開始。遠隔読影については、多額の費用等を要することから、2次読影の医師の確保が困難な検診センターに限り運用。
- ・ 読影医師のレベルの維持、向上のため、機構医師による地区医師会における症例検討会を実施。継続した実施を行う必要。
- ・ 山形検診センターにおける重大な事務処理誤りを踏まえ、リスクマネジメント体制を一新。改善策が、検診現場にしっかりと定着するよう点検を行い、また、常に危機感を持って、定期的に会議を動かしていく必要。

①精度管理の維持・向上と事業評価 【評価：概ね達成】

- ・ 検診委員会については、委員の改選を行い、循環器等健診委員会と人間ドック委員会を統合。委員会実施体制を見直し。
- ・ 検診委員会の指導事項は次のとおり。

| 委員会名 | 内 容 |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 循環器等健診・人間ドック委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 有所見率は判定区分ごとに比較すると有所見の傾向が読み取れる。 ・ ストレスチェックはこれからどう活用していくかが重要であり、引き続き検討する。 ・ 推定食塩摂取量は血圧との相関は明確であり件数が多いほど興味深いデータが得られる。 ・ 特定保健指導の改善を見極めるための数値設定は検討が必要。数値の平均は有意差が出るので有意差検定を行う。 ・ スパイロメーターの禁忌事項は注意事項としてまとめていく。 |
| 消化器検診委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 胃がん検診にかかわるパンフレット「バリウム検査を受けた後で」の表現についての指導 ・ 問診で大腸憩室を認識して検査を実施し、問題があれば争点にされる可能性があるため注意が必要 ・ 胃がん検診の要精検率はセンター間でバランスをとる必要 ・ 胃リスク評価の実施要項が市町村によって異なり統一することの検討が必要 ・ 大腸がん検診は一部自治体受診率が低い。更に一部センターの職域の精検受診率が低いのでパンフレット等で活用し対策を検討 ・ 大腸がん検診結果で強陽性者の回報書は早ければ早いほど良い。 |
| 呼吸器検診委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 精密検査時の受診者の負担を考慮し肺がん検診に移行することを推進 ・ 地域によって要精検率が低いことや、読影医一人の負担に差が認められる。 ・ COPD の判定区分は早期発見が必要なため、要観察ではなく精検もしくは再検査が妥当である。 ・ COPD の認知度を上げるため、パンフレット等での普及啓発が必要 |
| 子宮がん検診委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 精検受診時の医療機関に於いて細胞診 ASC-US が HPV 陽性の場合 CIN3、HICIL 移行も多い為、1年後再検査ではなく精密検査とすべき。 ・ HPV 併用検診を拡大する必要、受診間隔等、流れを分かりやすく整理すること。 ・ パンフレットは分かりやすいように検討すること。 ・ HPV 併用検診の連絡票・回報書の見直し実施。 |
| 乳がん検診委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 視触診のみで発見された乳がんについて、自覚症状の有無等の詳細を検討すること。 ・ 医師の認定取得状況、講習会受講の有無を把握し、認定取得と講習会受講を促すこと。 ・ 超音波検査のみで発見される病変について検討し精度管理に反映させること。 ・ MMG と US の総合判定に向けた読影体制を検討していくこと。 ・ 時間外乳がん検診は自治体のスキームを利用した検診も検討する。 ・ 画像保存期間は法定上5年であるが過去5回分のデータを保存するなど比較読影に支障がない保存期間・方法を検討すること。 |
| 超音波検査委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・ カテゴリー分類を使用することで初回受診では経過観察より精密検査に判定する傾向が多くなることに留意すること。 ・ 肝臓よりすい臓がんの発見が多くなってきており、すい臓がんが多くなっているという意識を持って検査に従事すること。 ・ 機構独自の判定区分でもよいが、今後超音波検診判定マニュアルに移行することになるので課題を整理すること。 ・ 資料作成でカテゴリー分類に対する判定結果が分かりにくいいため検討すること。 |

- ・ 学会、研修会等に職員を派遣し、専門技術職のスキルアップを計画的に実施。
- ・ 第三者による外部評価手法の検討は引き続き実施。

- 厚生労働省が定める「がん検診事業評価指標」に基づく許容値及び目標値との比較成績（H27）

| | 胃がん検診 | 大腸がん検診 | 肺がん検診 | 子宮がん検診 | 乳がん検診 |
|---------|-------|--------|-------|--------|-------|
| 精検受診率 | 83.8% | 78.3% | 87.7% | 78.8% | 91.2% |
| 要精検率 | 7.6% | 5.8% | 5.3% | 0.8% | 5.7% |
| がん発見率 | 0.09% | 0.11% | 0.05% | 0.07% | 0.30% |
| 陽性反応適中率 | 1.42% | 1.96% | 1.79% | 9.10% | 5.34% |

※グレー部分は、許容値の範囲外のもの。

※平成28年度数値は、平成29年6月末確定予定。

- 外部機関による精度管理評価については、日本医師会、日本臨床検査精度管理調査、胸部画像評価、マンモ画像評価ともおおむね良好な評価

| | 日臨技 | 日本医師会 | 胸部評価 | マンモ評価 |
|-----|-----|-------|------|-------|
| 山形C | 100 | 97.1 | A | B |
| 庄内C | 100 | 98.8 | A | B |
| 最上C | 100 | 98.5 | A | B |
| 米沢C | 100 | 98.2 | A | B |
| 南陽C | 100 | 98.5 | B | A |

②読影体制強化 【評価：達成】

- MMG 2名及び呼吸器1名の読影医師を新規に確保。
- 読影医師確保が困難な最上検診センターについて高速ネットワーク通信を活用した読影システムを導入。
- 各検診センターの読影レベルの維持向上を図るため、機構独自の症例検討会を実施。

③リスクマネジメント体制強化 【評価：未達成】

- 事故等の至急連絡体制の徹底、相互の注意喚起による情報共有体制を4月より実施
- 重大事故が続いたことから、9月から「リスクマネジメント・危機管理に関する規程」を制定し、抜本的な見直し。全体の会議を山形検診センターに設置。併せて、各検診センターに支部を設置し、管理職等の役割を明確に定めた。危機レベルを3段階に設定し、段階ごとの対応を整理した。会議は月1回以上開催することとし、会議で決定した事項等についての現場での徹底状況も確認することとした。
- リスクレベル1（384件）、リスクレベル2以上（119件）が発生。

施策6 ICTの積極的な活用と新しい検査技術の導入

【事業推進の基本的考え方】

- ・ICTの積極的な活用を行い、地域医療との連携と事務の効率化を図るとともにニーズを踏まえた新しい検査技術の導入を進めます。
- ・個人情報を取り扱う事業者として、内部研修、内部監査を強化し厳格な保護管理を行います。

【主な目標】

- | | |
|-----------------|-------------------------------|
| ・医療情報ネットワークへの参加 | H26 方針決定 |
| ・基幹システムの更新 | H26 開発計画策定 H26～H28 プログラム修正 |
| ・HPV併用検診の導入 | H26 方針・方法決定 H29 実施 |

【評価：達成】

- ・ちょうかいネットに加わり、胃、呼吸器、マンモ、エコーの画像を公開。今後は、利用者や対象健保の拡大に向けて、取り組みを強化していく必要。なお、平成29年度に心電図データを新たに追加する予定
- ・基幹システムの更新に向け、予算化、基本設計等の導入作業を計画的に進める必要。
- ・HPV併用検診については、早期のがん発見が可能であることから、自治体、事業所等に引き続き導入を働きかける必要。
- ・新しい検査技術としてDXA法による骨密度測定及びストレスチェックを導入。また、これまでの骨密度測定から、国の指針で定める骨粗鬆症検診への移行を進める必要。
- ・乳房超音波検査については、技師長が中心となって取りまとめた拡大計画、工程表等に基づき、技術者の養成等を図り、順次、各検診センターに導入していく必要。

①医療情報ネットワークへの参加 【評価：達成】

- ・庄内地域の医療情報ネットワーク(ちょうかいネット)に4月から参加し、10月からは遊佐町、庄内町まで拡大実施。公開に同意した受診者は113名。

②基幹システムの更新 【評価：達成】

- ・基幹システムのパッケージソフト導入に係る調査及び2社プレゼンテーション実施。
- ・10月結核予防会各県支部に検診システム運用状況のアンケート調査を実施し、32支部から回答。
- ・自社開発から転換し、既存のパッケージソフトを導入することとして方向性を整理、31年度運用開始を目指すこととした。

③新しい検査技術の導入 【評価：概ね達成】

- ・2年目を迎える子宮頸がんHPV併用検診については、新たに2町追加なり4町2村から受託。(1,912名)
- ・DXA法による骨密度測定を山形検診センターへ導入。(3,920名)
- ・ストレスチェックは1,833社から受託。(30,258名)
- ・乳房超音波検査については、今後の事業の拡大方向を取りまとめ、平成29年度から新たに庄内検診センターで実施することとした。山形検診センターのレディース検診で任意型検診として開始。(143名) また、従事技師1名を養成し従事者4名に拡大。

④情報セキュリティ対策強化と情報の公開 【評価：概ね達成】

- ・個人情報保護に係る内部監査を実施し、指摘ある箇所は早急に改善。
- ・無許可USBメモリ使用ゼロ宣言通知、持ち込み禁止通知等を再通知、職員研修等を実施。
- ・法人関係の情報をホームページにおいて積極的に公開。

施策 7 計画的な検診機器等の整備更新

【事業推進の基本的考え方】

- ・ 検診精度の向上等を図るため、X線機器のデジタル化を計画的に進めます。
- ・ ニーズを踏まえた質の高い検診サービスを提供するため、検診機器等の整備更新を計画的に進めます。
- ・ 検診車の効率的な配置・利用について検討します。

【主な目標】

- ・ X線機器のデジタル化 H28 整備完了
- ・ 新たな固定資産整備計画の策定 H28
- ・ 検診車の効果的な利用を図るための配置、台数等の検討 H26～27

【評価：未達成】

- ・ 施設のX線機器の完全デジタル化は完了したが、胃がん検診車については、制度の見直しや受診者減少等を踏まえ、当面見送り、アナログ呼吸器検診車のデジタル化を進める。
- ・ 検診車配車の管理集中化等を検討したが方向性を取りまとめることができず、次年度へ繰越し。
- ・ 社用車については、今後、リース方式での対応について検討を進める必要。

① X線機器の完全デジタル化への移行 【評価：未達成】

- ・ 最上検診センターで稼働しているアナログ呼吸器検診車とアナログ胃がん検診車を含む、既存の検診車の配置換え及び配車計画の見直しを実施、平成 29 年度車両配置計画を策定。
- ・ 老朽化したアナログ呼吸器検診車 1 台の更新整備についての検討を実施。

② 固定資産等の計画的な取得、更新 【評価：概ね達成】

- ・ 平成 28 年度固定資産整備計画に基づき、当該機器の現状を精査のうえ乗用車や検査機器等を整備、長期使用を推進。
- ・ 当法人所有の受診者送迎バス 5 台を除却し、受診者送迎用務の外部委託に切替え。

③ 検診車の効率的な配置 【評価：未達成】

- ・ 内部の事務的な検討会を重ねたが、月別稼働日数、稼働率、平均受診人数等のデータを集約、分析にとどまり、平成 28 年度内に取りまとめる事が出来ず次年度へ繰越し。
- ・ 平成 28 年度の車両配置一覧については、次のとおり。 単位：台

| | 山形C | 庄内C | 最上C | 南陽C | 合計 |
|--------------|-----|-----|-----|-----|----|
| 胃がん検診車 | 1 | | 1 | | 2 |
| 胃部呼吸器併用検診車 | 4 | 2 | | 2 | 8 |
| 呼吸器検診車 | 1 | | 1 | | 2 |
| 子宮頸がん検診車 | 1 | | | | 1 |
| 循環器健診車 | | 1 | | | 1 |
| 循環器・超音波併用検診車 | 1 | 1 | | | 2 |

※平成 29 年 3 月 31 日現在

施策 8 安定的な収入確保対策

【事業推進の基本的考え方】

- ・様々な環境変化に柔軟に対応できる自立した法人として、持続的・安定的な事業運営を推進するため、あらゆる対策を講じます。
- ・コスト意識の組織内浸透と経費節減に対する総合的な取り組みを強化し、収支均衡を確保します。

【主な目標】

- ・ 検診事業収入 H30 314,100 万円（平成 25 年度 298,047 万円 伸び率 5.4%）
 - 山形検診センター 107,300 万円（平成 25 年度 101,712 万円 伸び率 5.5%）
 - 庄内検診センター 79,400 万円（平成 25 年度 77,204 万円 伸び率 2.8%）
 - 最上検診センター 46,100 万円（平成 25 年度 42,460 万円 伸び率 8.6%）
 - 米沢検診センター 36,200 万円（平成 25 年度 34,734 万円 伸び率 4.2%）
 - 南陽検診センター 45,100 万円（平成 25 年度 41,935 万円 伸び率 7.5%）
- ・ 各検診センター課題整理、個別対策決定 H26～H27
- ・ 新たな受診者の拡大策 H26～ 取りまとめ、実施
- ・ 受診者のリピート率 H30 5 年間増加（H25 79.3%）
- ・ 渉外戦略策定 H27
- ・ 新規事業所等訪問件数 H30 100 社
- ・ 検診料金在り方検討 H27 新料金(案) 決定
- ・ 競争入札への対応 H28 方針決定
- ・ 維持会員募金 H30 400 万円以上
- ・ 複十字シール募金 H30 80 万円以上

【評価：未達成】

- ・ 検診事業収入は、事業収入予算額をわずかに下回り、ほぼ前年度並みとなり、これまで続けてきた伸び率を維持することができなかった。
- ・ 収益確保のため未受診者対策等を実施したが、半分以上の検診・検査項目が予算額を下回る結果。
- ・ 3 年目の渉外活動は、戦略策定も停滞し、事業所訪問の結果も見えない。渉外技術の習得、渉外人材の育成、具体的な手法等についての計画を早期に策定し、全センターでの取り組みが必要。平成 29 年度から山形検診センターに渉外課を設置。
- ・ 維持会、複十字シール募金等の目標額未達成。特に複十字シール募金額は、結核予防会全国支部の中でも下位であり、当面はそのレベルを脱する取り組みを行う必要。
- ・ 複十字シール募金活動の県知事表敬訪問は中止。次年度、知事又は副知事の表敬訪問が可能となるよう調整を進める必要。

①受診者数等の数値目標の設定等 【評価：未達成】

- ・ 各検診センターの計画額を達成すべく取り組み、最上及び南陽の検診センターは計画額を上回ったが山形、庄内及び米沢の検診センターは未達成となり、全体で計画額を 554 千円下回り、前年度実績との比較では 7,669 千円上回った。
- ・ 検診項目別では、特定保健指導、子宮頸がん検診、乳がん検診、前立腺がん検診、全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診は計画額を上回ったものの、以外の項目は下回る結果となった。（参考資料参照）
- ・ 検診事業収入について、業務課長会議で各検診センターに、前年度決算比で総額 56,800 千円の目標増額を提示し、受診者の拡大に取り組んだが大きな成果は見られなかった。

②利用者数、受診者数の増加対策の推進 【評価：未達成】

- ・ 2年目となる山形検診センターのインターネット申込み件数。
(問い合わせ件数 32 件、検診実績 18 名)
- ・ 閑散期の利用者拡大策の検討、受診者拡大策の検討は未実施。
- ・ リピート率 80%以上、前年度実績を上回ることを目標とした取り組みでは、各種検診の継続受診に努めたが、庄内検診センター以外は前年度を下回り、平均ではリピート率 0.3 ポイントダウン。
リピート率比較 (目標：前年度以上)

| | H27 | H28 |
|-----|-------|-------|
| 山形C | 77.0% | 76.9% |
| 庄内C | 83.8% | 84.6% |
| 最上C | 78.8% | 77.0% |
| 米沢C | 83.4% | 83.0% |
| 南陽C | 81.7% | 80.9% |
| 平均 | 80.4% | 80.1% |

- ・ 仕事や子育てに忙しい世代をターゲットとして昨年から実施した「時間外乳がん検診」を継続実施、11月から40代を対象に乳房超音波検査も併せて実施。
(4月～3月 15回実施 受診者 112名 超音波検査受診者 16名)

③積極的な渉外活動の推進 【評価：概ね達成】

- ・ 渉外担当会議を年3回開催し、渉外活動計画の確認と情報共有を実施。
- ・ 新規事業所訪問は、120社目標として取り組み、65社を訪問、情報収集と受診勧奨を実施。
- ・ 渉外戦略の策定は未実施。
- ・ 既存・新規事業所訪問及び電話勧奨については、次のとおり。

| | 事業所訪問数 | | 過去事業所 | | 新規事業所 | |
|-----|--------|-----|-------|----|-------|----|
| | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
| 山形C | 80 | 47 | 60 | 0 | 30 | 19 |
| 庄内C | 30 | 30 | 7 | 4 | 30 | 6 |
| 最上C | 50 | 51 | 10 | 10 | 20 | 31 |
| 米沢C | 3 | 3 | 15 | 0 | 10 | 5 |
| 南陽C | 67 | 81 | 22 | 20 | 30 | 4 |
| 合計 | 230 | 212 | 114 | 34 | 120 | 65 |

④競争性を確保した公益法人としての適正な検診料金の在り方と競争入札に対する方針の検討 【評価：未達成】

- ・ 検診料金のあり方 (原価計算、冬季料金、大口顧客割引制度等) については、県内や東北各県の類似健診機関のがん検診等を中心とした検診料金を調査、情報収集したが、検討は平成 29 年度に先送り。
- ・ 日本海人間ドック大腸内視鏡検査料金、推定食塩摂取量検査、血清フェリチン検査料金等を新たに設定。
- ・ 競争入札に関する情報収集と応札手法等については未着手。

⑤維持会、複十字シール募金等寄付金拡大 【評価：未達成】

(1) 維持会募金

- ・ 生活習慣病制圧のため繰り広げている募金活動。頂いた寄付金は早期発見・早期治療のための調査研究やがん予防パンフレット等の購入、各種教育用模型の整備や展示貸出をするなど普及啓発のために活用。
- ・ 維持会勧奨チラシを作成し、新規取引業者に依頼、新規募金 3 件。(個人:1、法人:2)
- ・ 募金額 3,288,004 円。(目標額 3,816,000 円以上)

(2) 複十字シール募金

- ・公益財団法人結核予防会が窓口となり、結核や肺がん、その他胸の病気をなくすために繰り返し行っている募金運動で、世界共通の運動。当機構でも婦人会を中心に運動を行い、頂いた募金は検診車や検診施設の整備、結核予防に関する大会・研修会などの教育広報、結核対策途上国への支援など幅広く活用
- ・山婦協3団体に募金箱を設置、研修会及び健康まつり等イベントでの募金協力。
- ・複十字シールを職員購入、名刺へ添付しPR。(職員提案制度)
- ・募金額 473,471円。(目標額 650,000円以上)

(参考資料)

各 種 検 診 ・ 受 託

| 検診・検査項目 | | 平成28年度 | | 増減 | 山形検診センター | | |
|-------------------------|----------|-----------|---------|---------|----------|---------|--------|
| | | 計画 | 実績 | | 計画 | 実績 | |
| 特定健康診査 | | 54,855 | 54,218 | △ 637 | 18,545 | 18,231 | |
| 特定保健指導 | | 2,665 | 2,830 | 165 | 1,030 | 1,099 | |
| 胃がん検診 | | 50,460 | 48,668 | △ 1,792 | 19,210 | 18,606 | |
| | (単+ド+全) | 103,051 | 100,116 | △ 2,935 | 33,810 | 32,539 | |
| 大腸がん検診 | | 67,070 | 66,415 | △ 655 | 25,110 | 24,182 | |
| | (単+ド+全) | 129,161 | 129,097 | △ 64 | 42,665 | 41,820 | |
| 子宮頸がん検診 | 細胞診 | 18,462 | 18,571 | 109 | 4,960 | 5,010 | |
| | (単+ド+全) | 36,242 | 36,419 | 177 | 11,435 | 11,440 | |
| | 併用 | 660 | 825 | 165 | 210 | 251 | |
| | (単+ド+全) | 1,710 | 1,899 | 189 | 460 | 516 | |
| 乳がん検診 | マンモ単独 | 3,435 | 3,688 | 253 | 300 | 753 | |
| | (単+ド+全) | 8,790 | 11,107 | 2,317 | 950 | 3,853 | |
| | 併用 | 13,295 | 14,402 | 1,107 | 3,580 | 3,677 | |
| | (単+ド+全) | 26,620 | 25,620 | △ 1,000 | 10,520 | 7,936 | |
| | 視・触診 | 320 | 329 | 9 | 0 | 0 | |
| | (単+ド) | 345 | 332 | △ 13 | 0 | 1 | |
| | 乳房超音波 | 40 | 143 | 103 | 40 | 143 | |
| | 個別(X線) | 55 | 46 | △ 9 | 0 | 0 | |
| 呼吸器検診 | 肺がん検診 | X線 | 54,910 | 54,792 | △ 118 | 19,290 | 19,261 |
| | | (単+ド) | 89,103 | 88,728 | △ 375 | 31,615 | 31,395 |
| | | 喀痰 | 2,180 | 2,325 | 145 | 950 | 1,109 |
| | | (単+ド) | 2,930 | 3,081 | 151 | 1,150 | 1,296 |
| | 結核検診 | X線 | 27,350 | 25,925 | △ 1,425 | 15,710 | 14,583 |
| | | (単+定+ド+全) | 112,140 | 110,808 | △ 1,332 | 42,590 | 41,339 |
| 人間ドック | | 35,910 | 35,591 | △ 319 | 12,830 | 12,617 | |
| 全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診 | | 29,100 | 29,940 | 840 | 5,600 | 5,815 | |
| 腹部超音波検査 | | 34,420 | 33,690 | △ 730 | 11,600 | 11,698 | |
| | (単+全) | 35,140 | 34,584 | △ 556 | 11,740 | 11,914 | |
| 一般検査 | 定健 | A健診 | 54,380 | 54,233 | △ 147 | 20,215 | 20,048 |
| | | B健診 | 15,705 | 15,661 | △ 44 | 7,675 | 7,560 |
| | その他(延べ件) | 511,520 | 544,905 | 33,385 | 205,600 | 217,746 | |
| 学校検診 | (延べ件) | 51,087 | 50,967 | △ 120 | 4,350 | 4,231 | |
| 細胞診検査 | (件) | 6,060 | 6,414 | 354 | 6,060 | 6,414 | |
| 前立腺がん検診 | | 22,470 | 22,700 | 230 | 6,790 | 7,006 | |
| 骨密度測定 | | 18,245 | 17,576 | △ 669 | 3,780 | 3,910 | |
| 肝炎ウイルス検診 | | 5,800 | 4,132 | △ 1,668 | 1,320 | 494 | |
| 受付問診等 | 人 | 4,503 | 4,393 | △ 110 | 2,947 | 2,627 | |
| 結果送付 | 件 | 82,010 | 87,390 | 5,380 | 36,820 | 36,832 | |
| 料金徴収 | 件 | 27,045 | 27,353 | 308 | 8,330 | 7,779 | |

(注1) 単=単独検診 定=定期健康診断 ド=人間ドック
全=全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診

(注2) 上記各種検診には、離島や過疎地における出張検診、社会福祉施設等の健康診断を含む

事務の実績人員 (単位：人)

| 庄内検診センター | | 最上検診センター | | 米沢検診センター | | 南陽検診センター | |
|----------|---------|----------|--------|----------|--------|----------|--------|
| 計画 | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 | 実績 |
| 16,830 | 16,445 | 5,090 | 5,177 | 4,465 | 4,132 | 9,925 | 10,233 |
| 490 | 582 | 655 | 653 | 195 | 220 | 295 | 276 |
| 12,760 | 12,084 | 3,740 | 3,699 | 6,040 | 5,594 | 8,710 | 8,685 |
| 26,400 | 25,501 | 14,075 | 13,784 | 12,316 | 11,635 | 16,450 | 16,657 |
| 17,300 | 17,184 | 5,325 | 5,616 | 7,240 | 6,998 | 12,095 | 12,435 |
| 33,770 | 33,760 | 17,235 | 17,584 | 14,477 | 14,068 | 21,014 | 21,865 |
| 4,430 | 4,337 | 2,105 | 2,113 | 2,652 | 2,451 | 4,315 | 4,660 |
| 9,260 | 9,045 | 4,285 | 4,410 | 4,612 | 4,342 | 6,650 | 7,182 |
| 0 | 0 | 450 | 574 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 1,250 | 1,383 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 950 | 896 | 1,775 | 1,939 | 0 | 60 | 410 | 40 |
| 2,470 | 2,315 | 4,730 | 4,801 | 0 | 91 | 640 | 47 |
| 2,210 | 2,370 | 940 | 951 | 2,535 | 2,367 | 4,030 | 5,037 |
| 4,260 | 4,513 | 1,635 | 1,815 | 3,980 | 3,760 | 6,225 | 7,596 |
| 110 | 83 | 190 | 219 | 20 | 27 | 0 | 0 |
| 130 | 83 | 190 | 221 | 25 | 27 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 10 | 7 | 0 | 0 | 10 | 4 | 35 | 35 |
| 16,000 | 15,889 | 5,915 | 6,347 | 3,760 | 3,447 | 9,945 | 9,848 |
| 24,580 | 24,461 | 13,345 | 13,606 | 5,813 | 5,364 | 13,750 | 13,902 |
| 320 | 315 | 265 | 272 | 245 | 210 | 400 | 419 |
| 450 | 405 | 655 | 661 | 260 | 234 | 415 | 485 |
| 3,680 | 4,035 | 2,875 | 2,238 | 2,895 | 2,863 | 2,190 | 2,206 |
| 24,770 | 25,063 | 13,285 | 12,748 | 17,005 | 16,796 | 14,490 | 14,862 |
| 9,070 | 9,073 | 7,825 | 7,598 | 2,250 | 2,168 | 3,935 | 4,135 |
| 8,050 | 8,252 | 4,640 | 4,898 | 5,400 | 5,258 | 5,410 | 5,717 |
| 8,300 | 7,027 | 5,820 | 6,060 | 4,050 | 3,968 | 4,650 | 4,937 |
| 8,500 | 7,222 | 5,960 | 6,268 | 4,160 | 4,111 | 4,780 | 5,069 |
| 12,840 | 12,937 | 5,780 | 5,771 | 8,390 | 8,197 | 7,155 | 7,280 |
| 3,100 | 3,337 | 970 | 976 | 2,950 | 2,775 | 1,010 | 1,013 |
| 112,890 | 118,721 | 51,000 | 58,118 | 81,700 | 84,417 | 60,330 | 65,903 |
| 19,650 | 19,858 | 7,120 | 7,058 | 15,857 | 15,806 | 4,110 | 4,014 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 8,330 | 8,273 | 2,645 | 2,730 | 1,570 | 1,477 | 3,135 | 3,214 |
| 6,880 | 6,509 | 2,385 | 2,449 | 1,970 | 1,673 | 3,230 | 3,035 |
| 1,610 | 954 | 1,315 | 1,117 | 230 | 557 | 1,325 | 1,010 |
| 712 | 949 | 281 | 263 | 65 | 52 | 498 | 502 |
| 26,480 | 26,989 | 11,190 | 12,781 | 1,090 | 1,113 | 6,430 | 9,675 |
| 9,330 | 9,256 | 2,680 | 3,335 | 0 | 0 | 6,705 | 6,983 |

(参考資料)

各 種 検 診 事 業

| 検診・検査項目 | 平成28年度 | | 増減 | 山形検診センター | |
|-----------------------------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|
| | 計画 | 実績 | | 計画 | 実績 |
| 特定健康診査 | 383,632 | 378,992 | △ 4,640 | 129,155 | 127,210 |
| 特定保健指導 | 29,277 | 30,347 | 1,070 | 11,809 | 11,864 |
| 胃がん検診 | 234,889 | 226,829 | △ 8,060 | 89,264 | 86,402 |
| 大腸がん検診 | 107,312 | 106,277 | △ 1,035 | 40,176 | 38,700 |
| 子宮頸がん検診 | 78,468 | 80,059 | 1,591 | 21,310 | 21,797 |
| 乳がん検診 | 82,456 | 90,014 | 7,558 | 20,219 | 22,747 |
| 呼吸器検診 | 89,665 | 88,707 | △ 958 | 36,167 | 35,492 |
| 人間ドック | 763,574 | 749,868 | △ 13,706 | 286,329 | 276,483 |
| 全国健康保険協会管掌健康保険 生活習慣病予防健診 | 473,731 | 487,186 | 13,455 | 90,450 | 93,971 |
| 腹部超音波検査 | 137,680 | 134,760 | △ 2,920 | 46,400 | 46,792 |
| 一般検査 | 632,291 | 642,429 | 10,138 | 244,851 | 245,387 |
| 学校検診 | 28,374 | 28,428 | 54 | 2,593 | 2,434 |
| 細胞診検査 | 6,787 | 7,183 | 396 | 6,787 | 7,183 |
| 前立腺がん検診 | 49,456 | 49,947 | 491 | 14,960 | 15,422 |
| 骨密度測定 | 16,996 | 17,348 | 352 | 5,424 | 6,414 |
| 肝炎ウイルス検診 | 16,702 | 11,885 | △ 4,817 | 3,800 | 1,411 |
| 受託料収入 | 38,883 | 40,438 | 1,555 | 17,475 | 18,059 |
| 合計 | 3,170,173 | 3,170,697 | 524 | 1,067,169 | 1,057,768 |

(注1) 千円未満切り捨て

の 収 入 実 績

(単位：千円)

| 庄内検診センター | | 最上検診センター | | 米沢検診センター | | 南陽検診センター | |
|----------|---------|----------|---------|----------|---------|----------|---------|
| 計画 | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 | 実績 |
| 118,705 | 115,659 | 36,160 | 36,664 | 31,371 | 29,103 | 68,241 | 70,356 |
| 5,357 | 6,198 | 6,123 | 6,131 | 2,481 | 2,800 | 3,507 | 3,354 |
| 59,835 | 56,920 | 17,432 | 17,324 | 28,482 | 26,399 | 39,876 | 39,784 |
| 27,680 | 27,497 | 8,520 | 8,987 | 11,584 | 11,196 | 19,352 | 19,897 |
| 17,720 | 17,348 | 11,570 | 12,470 | 10,608 | 9,804 | 17,260 | 18,640 |
| 15,290 | 16,076 | 11,117 | 11,902 | 13,138 | 12,495 | 22,692 | 26,794 |
| 22,004 | 22,106 | 9,744 | 9,784 | 7,357 | 7,012 | 14,393 | 14,313 |
| 183,512 | 181,496 | 161,943 | 157,168 | 47,334 | 45,463 | 84,456 | 89,258 |
| 130,808 | 133,164 | 73,874 | 78,673 | 90,558 | 88,615 | 88,041 | 92,763 |
| 33,200 | 28,108 | 23,280 | 24,240 | 16,200 | 15,872 | 18,600 | 19,748 |
| 154,063 | 157,035 | 64,286 | 67,551 | 94,760 | 94,875 | 74,331 | 77,581 |
| 9,743 | 9,889 | 5,162 | 5,169 | 6,879 | 7,050 | 3,997 | 3,886 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 18,326 | 18,200 | 5,819 | 6,006 | 3,454 | 3,249 | 6,897 | 7,070 |
| 5,504 | 5,207 | 1,908 | 1,959 | 1,576 | 1,340 | 2,584 | 2,428 |
| 4,653 | 2,758 | 3,802 | 3,224 | 644 | 1,592 | 3,803 | 2,900 |
| 9,757 | 10,221 | 3,930 | 4,220 | 2,691 | 2,175 | 5,030 | 5,763 |
| 816,157 | 807,882 | 444,670 | 451,472 | 369,117 | 359,040 | 473,060 | 494,535 |

施策 9 効率的な業務の執行

【事業推進の基本的考え方】

- ・新たに職員提案制度を導入するとともに、組織間の連携協力体制を強化し、効率性の高い検診を行います。
- ・意志決定のプロセスを明確にするるとともに、情報を共有する場として定期的に管理者会議を開催します。
- ・契約制度の見直し、コスト節減に向けた運動等を行い、経費節減のための取り組みを強化します。

【主な目標】

- | | |
|-----------------|---------------|
| ・職員提案制度 | 毎年度 |
| ・契約（調達）制度の見直し | H27 |
| ・業務の外部委託 | H28 委託業務決定 |
| ・経常収支の収支均衡 | H26～ 毎事業年度 |
| ・財務関係目標値（健全な運営） | H30 別表 3 のとおり |

【評価：概ね達成】

- ・職員提案については事務作業が遅延。職員からの提案については、実施済みの提案等が多く、採択件数はゼロ。提案しやすい内容をテーマとし多くの提案がなされるよう工夫し、周知必要。
- ・部門間応援体制の整備について、専門職間の応援体制については各センター間（エリア間）の応援体制が実施されたが、仕組みづくり、ルール等の整備が必要。
- ・会議を点検し、形式的な会議等はその必要性を検討し見直し、参集範囲・短時間で効率的な会議運営の検討が必要。
- ・経費節減に向けた取り組みの目標については、これまでのコスト節減という視点だけではなく、地球温暖化防止のための企業としての取り組みという観点に方向転換し、具体的な目標値を設定する等、今後に向けた推進策の整理が必要。

①効率性の高い検診の確保 【評価：概ね達成】

- ・採択 8 提案の実施、検証（一部H27より実施）

| 件名 | 範囲 | 備考 |
|--------------------|-----|------------|
| 出勤時の全職員の草取り | 山形C | |
| 軽装実施時のポロシャツの着用 | 全 C | 平成 29 年度継続 |
| 簡易健診における効率的な職員配置体制 | 庄内C | |
| 名刺を活用した渉外活動 | 全 C | 平成 29 年度継続 |
| センターの美化活動計画 | 米沢C | |
| やまがた健康マイレージ事業協力参加 | 米沢C | |
| 受診者用の Wi-Fi を設置 | 米沢C | 中止 |
| 胃がん検診時のラミネートコップ蓋使用 | 南陽C | 中止 |

- ・職員提案制度はテーマを絞り募集し 5 件の応募があったがいずれも実施済等の案件のため、採択はゼロ。
- ・各検診センター間の専門職応援体制について、各センター間でスタッフを調整し、応援実施。
- ・センター内での心電図、眼底、聴力検査等については、専門職間の応援体制を実施。

②組織間の情報伝達と情報共有 【評価：概ね達成】

- ・重要案件の協議、報告事項、情報共有等を行うため、管理者会議を月1回開催。
- ・各検診センター内、課係内、チーム内等の協議、情報共有等を図るための打合せを、定期的にセンター単位で実施。

③経費節減に向けた取り組みの強化対応 【評価：概ね達成】

- ・コスト節減意識の定着化に向けた運動では方針を通知し、各検診センターで具体的数値目標を設定し5月より実施。

電気使用の節電状況

単位：kwh

| | 前年度実績 | 本年度目標 | 本年度実績 | 目標値との比較 |
|-----|-----------|-----------|-----------|---------|
| 山形C | 550,327 | 539,000 | 571,158 | 32,158 |
| 庄内C | 365,089 | 354,135 | 366,122 | 11,987 |
| 最上C | 102,882 | 99,796 | 102,103 | 2,307 |
| 米沢C | 120,269 | 120,000 | 117,023 | △ 2,977 |
| 南陽C | 153,328 | 153,170 | 148,320 | △ 4,850 |
| 合計 | 1,291,895 | 1,266,101 | 1,304,726 | 38,625 |

- ・公益法人としての適正な契約(調達)制度の見直しについては、概ね100万円を超える契約について指名業者選定委員会を設置し適切な指名を実施、また、検診機器の更新については、機種選定委員会を設置し、妥当性を検討。
- ・検診に係る消耗品、材料費の情報収集を行い、契約単価の一部見直しを実施。
- ・施設外実施分の検体検査の外部委託について平成29年度からの開始に向けた検討を実施。

④財務関係の目標値の設定 【評価：概ね達成】

- ・平成29年度事業計画及び予算に関する課題整理のための委員会を立ち上げ、主たる事業の方向性を整理するとともに、平成29年度予算の経常費用の科目ごとの抑制方針を設定し、平成29年度の予算編成に反映。

施策10 変化に対応できる柔軟な組織づくりと人材育成

【事業推進の基本的考え方】

- ・ 検診機関をめぐる様々な環境変化に柔軟に対応できる組織づくりと適切な人員の配置を進めるとともに、公益法人として適切な給与制度について、絶えず検討、見直しを行います。
- ・ 専門ごとの医師の確保対策を進めるとともに、専門技術職の採用・確保のため採用方法等を見直します。
- ・ 職員の意識改革を進めながら、役職に応じた業務の分析・対応能力を備えた人材の育成を図るとともに、働きやすい職場環境の整備を行います。

【主な目標】

- | | |
|--------------------|------------|
| ・ 人員管理計画の策定 | H27 上期 策定 |
| ・ 採用試験等の見直し | H28 実施 |
| ・ 給与制度 | |
| ・ 類似団体等調査 | H26 |
| ・ 人件費率目標等の設定 | H26 |
| ・ 給与制度の見直し点検 | 毎年度 |
| ・ 採用パンフレットの作成 | H27 作成 |
| ・ 嘱託職員の雇用の在り方 | H26 方針決定 |
| ・ 人材育成方針の策定 | H26 |
| ・ 自発的な勉強会への支援制度の整備 | H27 |
| ・ 職員考課制度 | H28 本格実施 |
| ・ 働きやすい職場づくり | 毎年度 運動方針決定 |

【評価：概ね達成】

- ・ 5つの検診センターの今後の在り方及び最上検診センターの改築整備計画については、進展がなく、目標としていた素案をまとめられなかった。次年度の課題として取り組む。
- ・ 職員採用の早期実施は達成、採用面接の手法や試験内容の見直しが必要。
- ・ 婦人科医師の不足は深刻な状況にあり、引き続き確保に万全を尽くす必要。
- ・ 嘱託職員の在り方については、同一労働同一賃金への対応検討を急ぐ必要。
- ・ 給与の見直しについては、退職金、高齢者給与、広域異動手当、持ち家の住居手当の見直しなど多くの見直しを行った。最大の課題である給料表のワタリ運用の見直し検討を進める時期。
- ・ 時間外勤務は、山形検診センターが前年度比で1.5倍になるなど、時間外管理が問題化。縮減のための管理職の意識改革と取り組みの促進が必要。働きやすい職場づくりとして、ワークライフバランスの推進、働き方改革の観点に意識を転換し、目標、進捗等の見える化や声掛けを行うなど、職員へ周知浸透のうねりで進める必要。
- ・ 職員考課制度は、人事、給与等への反映の検討を行う必要。
- ・ 人材育成方針については、外部委託、民間の研修専門会社、自前での研修等の研修体系を整理し、計画的な人材の養成を進める必要。

①組織見直しと職員数の管理 【評価：概ね達成】

- ・ 平成29年度の組織見直し
 - (1) 山形検診センターに涉外課を新設し、涉外体制を強化。
 - (2) 新たな基幹システム導入を検討するため、山形検診センター企画財務課情報システム係を検診課に移管。
 - (3) 管理部門の簡素合理化を図るため、企画財務課を事務管理課に統合。

- ・5つの検診センターの今後の在り方検討は、昨年度からの進展はなく中間素案を取りまとめられなかった。
- ・人員管理計画については未策定であり、次年度の退職、採用管理にとどまっている。正規職員数は、毎年度通減、嘱託職員については、山形検診センターにおいて、施設検診の体制を見直したことから大きく減少。
- ・各検診センター人員の適正配置は、平成29年度の嘱託職員体制を含め、人件費抑制を基本に、各検診センターの業務量に応じた人員配置。

②医師・専門技術職の確保対策の推進 【評価：概ね達成】

- ・採用パンフレットの作成等については、すでに実施済み。
- ・婦人科検診における女性医師等の確保推進については、新たに婦人科医師（パート）2名の協力を確保したが、常勤医師の確保が困難。
- ・職員採用については、主要大学、専門学校へ定期訪問のうえ、臨床検査技師の募集を6月に実施、臨床検査技師2名を採用内定。
- ・専門技術職の確保対策の推進は、案内パンフレットを増刷、各学校に送付及び各所属に配布。
- ・採用試験の見直しは未実施。

③嘱託職員の在り方検討 【評価：概ね達成】

- ・嘱託職員の再雇用限度の延長、長期の安定した雇用を確保し、優秀な人材を確保するため「嘱託職員の再雇用手続きに関する要綱」を制定、12月に勤務評定を実施。

④公益法人としての適切な給与制度の検討 【評価：未達成】

- ・多くの見直しが終了したが、その後の検討が遅延。

⑤計画的な人材の育成 【評価：概ね達成】

- ・外部委託派遣研修（学会等含む）は、年68箇所 延べ112名を派遣。
- ・独自研修の企画、充実強化は、渉外担当者研修会、接遇指導者研修、各専門職内部研修を実施。
- ・職員全体研修会（リスクマネジメント研修）を実施。
- ・職員提案制度により、職員の自発的な勉強会「機構の未来を考える会」を設置、専務理事講話、岩手県予防医学協会を視察。
- ・職員考課制度は4年目となり、目標設定・目標進捗支援・考課評定及び面談実施。
- ・人材育成方針については未策定。

⑥働きやすい職場づくり 【評価：概ね達成】

- ・働きやすい職場づくりに向けた取り組みでは方針を通知し、各検診センターで具体的数値目標を設定し5月より実施。
- ・時間外の不払いが発覚したことから、新たに11月「時間外勤務の適正管理方針」を通知、健康維持、ワークライフバランスを図りつつ、効率的な業務執行に向けて、各検診センターで具体的数値目標を設定し実施。

時間外勤務時間の緊縮状況

単位：時間

| | 前年度実績 | 本年度目標 | 本年度実績 | 目標値との比較 |
|-----|--------|--------|--------|---------|
| 山形C | 6,526 | 6,332 | 9,877 | 3,545 |
| 庄内C | 3,311 | 3,150 | 3,652 | 502 |
| 最上C | 1,829 | 1,800 | 1,949 | 149 |
| 米沢C | 2,534 | 2,300 | 2,151 | △ 149 |
| 南陽C | 2,604 | 2,320 | 2,384 | 64 |
| 合計 | 16,804 | 15,902 | 20,013 | 4,111 |

⑦蔵王噴火の場合の災害対応計画の策定 【評価：未達成】

- ・蔵王山噴火による冬季の融雪型洪水を踏まえた山形市のハザードマップによれば、山形検診センターは敷地の全てが冠水する恐れがあることが判明。そのため、被害想定、予防、応急、復興対策等の計画を策定するための内部会議を設置して検討したが、年度内に計画を策定できず、次年度に先送り。

Ⅲ 法人運営等

1 評議員会

| 開催日 | 会議名 | 決議事項 |
|------------------|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 28 年 6 月 29 日 | 第 1 回 (定時)評議員会 | 「平成 27 年度事業報告」の件 「平成 27 年度貸借対照表・正味財産増減計算書及び財産目録」承認の件 「役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程の一部を改正する規程」承認の件 「評議員の任期満了に伴う選任」の件 「理事の任期満了に伴う選任」の件 「監事の任期満了に伴う選任」の件 「役職員の報酬及び給料等の状況」報告の件 |
| | | ※出席評議員 5 名、出席理事 5 名、出席監事 1 名 |
| 平成 29 年 3 月 24 日 | 第 2 回 (臨時)評議員会 | 「公益財団法人やまがた健康推進機構定款の一部を改正する定款の制定」承認の件 「理事の辞任に伴う後任者の選任」の件 |
| | | ※評議員全員の書面同意決議 |

2 理事会

| 開催日 | 会議名 | 決議事項 |
|------------------|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 28 年 4 月 19 日 | 第 1 回 (臨時)理事会 | 「大腸がん検診における検査容器の誤送付」報告の件 |
| | | ※理事・監事全員に報告 |
| 平成 28 年 6 月 7 日 | 第 2 回 (通常)理事会 | 「平成 27 年度事業報告及び附属明細書」承認の件 「平成 27 年度決算財務諸表及び財産目録」承認の件 「平成 27 年度資金収支計算書」承認の件 「平成 27 年度その他必要とされる書類」報告の件 「平成 27 年度理事の取引」報告の件 「理事の辞任」報告の件 「専務理事の報酬額」承認の件 「定時評議員会の招集及び提出議題」承認の件 「検診センター所長の委嘱等に関する規程」承認の件 「平成 28 年度新規検診・検査料金」報告の件 「山形検診センター敷地の境界問題について」報告の件 「職務執行状況」報告の件 |
| | | ※出席理事 10 名、出席監事 1 名 |
| 平成 28 年 6 月 29 日 | 第 3 回 (臨時)理事会 | 「理事長、副理事長、専務理事及び常任理事の選定」の件 「その他報告事項」の件 |
| | | ※出席理事 10 名、出席監事 1 名 |
| 平成 28 年 8 月 31 日 | 第 4 回 (臨時)理事会 | 「平成 28 年度資金収支補正予算」承認の件 |
| | | ※理事全員の書面同意決議 |

| 開催日 | 会議名 | 決議事項 |
|-------------------|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 28 年 11 月 26 日 | 第 5 回 (臨時)理事会 | 「山形検診センター用地に係る境界争いの和解について」承認の件 「平成 28 年度資金収支補正予算」承認の件 ※理事全員の書面同意決議 |
| 平成 28 年 12 月 8 日 | 第 6 回 (臨時)理事会 | 「平成 28 年度事業報告 (中間期)」報告の件 「平成 28 年度資金収支中間決算見込」報告の件 「平成 28 年度資金収支補正予算」承認の件 「平成 29 年度検診・検査料金」承認の件 「介護のための所定外労働の免除申請の適用除外者を定める労働協約の締結」承認の件 「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律及び育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正に伴う関係規程の整備に関する規程制定」承認の件 「給与規程の一部改正」承認の件 「業務執行状況」報告の件 ※出席理事 10 名、出席監事 2 名 |
| 平成 29 年 3 月 14 日 | 第 7 回 (通常)理事会 | 「平成 28 年度最終決算見込み」報告の件 「平成 28 年度資金収支補正予算」承認の件 「平成 29 年度事業実施計画」承認の件 「平成 29 年度収支予算」承認の件 「平成 29 年度資金収支予算」承認の件 「検診・検査料金」承認の件 「平成 28 年度第 2 回臨時評議員会の決議の省略」承認の件 「理事会運営規則の一部を改正する規則の制定」承認の件 「重要な使用人の選任及び解任」承認の件 「組織規程の一部を改正する規程の制定」承認の件 「平成 29 年度理事の取引」承認の件 「平成 28 年度やまがた健康推進機構労働組合との話合いの経過」報告の件 「時間外労働及び休日労働に関する協定の締結」承認の件 「長井市住民健診における肺がん検診に係るトラブル経過」報告の件 「業務執行状況」報告の件 ※出席理事 9 名、出席監事 1 名 |

3 役員等に関する事項 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

評議員 9 名

| 役名 | 氏名 | 就任年月日 | 任期 | 備考 |
|-------|-------|------------|----------------------------|----|
| 評 議 員 | 石川 仁 | H28. 6. 29 | 平成 32 年開催の定時評議員会 終結の時まで | |
| | 神村 裕子 | H28. 6. 29 | | |
| | 国井 富彦 | H28. 6. 29 | | |
| | 後藤 敏和 | H28. 6. 29 | | |
| | 今田 裕幸 | H28. 6. 29 | | |
| | 富田 博 | H28. 6. 29 | | |
| | 中條 明夫 | H28. 6. 29 | | |
| | 松田 一彦 | H28. 6. 29 | | |
| | 村形 弘也 | H28. 6. 29 | | |

※任期満了に伴う選任

五十音順

理事 10 名・監事 2 名

| 役名 | 氏名 | 就任年月日 | 任期 | 備考 |
|---------------|-------|------------|----------------------------|--------|
| 理 事 長 | 徳永 正靱 | H28. 6. 29 | 平成 30 年開催の定時評議員会 終結の時まで | 代表理事 |
| 副理事長 | 齋藤 幹郎 | H28. 6. 29 | | 業務執行理事 |
| 専務理事 兼副理事長 | 土海 安雄 | H28. 6. 29 | | 業務執行理事 |
| 常任理事 | 菊地 惇 | H28. 6. 29 | | 業務執行理事 |
| 理 事 | 上野 俊幸 | H28. 6. 29 | | |
| | 粕川 俊彦 | H28. 6. 29 | | |
| | 栗谷 義樹 | H28. 6. 29 | | |
| | 小林 正義 | H28. 6. 29 | | |
| | 三條 典男 | H28. 6. 29 | | |
| | 深尾 彰 | H28. 6. 29 | | |
| 監 事 | 奥山 享 | H28. 6. 29 | | |
| | 粕谷 真生 | H28. 6. 29 | | |

※任期満了に伴う選任

五十音順

顧問 2 名

| 役名 | 氏名 | 委任年月日 | 備考 |
|-----|-------|------------|----|
| 顧 問 | 岸 陽一 | H24. 6. 15 | |
| | 有海 躬行 | H26. 6. 27 | |

平成 28 年度内に退任された評議員

| 退任時の役名 | 氏名 | 就任年月日 | 退任年月日 | 備考 |
|--------|-------|------------|------------|----|
| 評 議 員 | 佐藤 浩之 | H27. 6. 23 | H28. 6. 29 | |
| | 大内 清則 | H24. 6. 29 | H28. 6. 29 | |

平成 28 年度内に退任された理事

| 退任時の役名 | 氏名 | 就任年月日 | 退任年月日 | 備考 |
|--------|-------|------------|------------|----|
| 理 事 | 後藤 利昭 | H26. 6. 27 | H28. 6. 29 | |
| | 高橋 秀昭 | H26. 6. 27 | H28. 6. 29 | |
| | 山科 昭雄 | H26. 6. 27 | H28. 6. 29 | |

4 職員に関する事項 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

各検診センター所長及び副所長

| 所 属 | 職 名 | 氏 名 | 職 名 | 氏 名 |
|----------|-----|-------|-----|-------|
| 山形検診センター | 所 長 | 菊 地 惇 | 副所長 | 上野 俊幸 |
| 庄内検診センター | 所 長 | 栗谷 義樹 | 副所長 | 佐藤 徳彦 |
| 最上検診センター | 所 長 | 三條 典男 | 副所長 | 本間 隆宏 |
| 米沢検診センター | 所 長 | 小林 正義 | 副所長 | 高橋 清一 |
| 南陽検診センター | 所 長 | 粕川 俊彦 | 副所長 | 荒井 信行 |

5 職種別職員数 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

| 職 種 | 事務職 | 業務職 | 医師 | 診療放射線技師 | 保健師 | 看護師 | 臨床検査技師 | 管理栄養士 | 細胞検査士 | 合 計 |
|-----------------------|-------|------|------|---------|------|------|--------|-------|-------|-------|
| 正規職員 | 74 人 | 1 人 | — | 26 人 | 10 人 | 36 人 | 29 人 | 5 人 | 3 人 | 184 人 |
| | △3 人 | — | — | △1 人 | 1 人 | — | △1 人 | — | — | △4 人 |
| 機構医師 再雇用職員 嘱託職員 | 66 人 | 10 人 | 11 人 | 4 人 | 3 人 | 25 人 | 7 人 | — | — | 126 人 |
| | △11 人 | 1 人 | — | △3 人 | — | — | △2 人 | △1 人 | — | △16 人 |
| 合 計 | 140 人 | 11 人 | 11 人 | 30 人 | 13 人 | 61 人 | 36 人 | 5 人 | 3 人 | 310 人 |
| | △14 人 | 1 人 | — | △4 人 | 1 人 | — | △3 人 | △1 人 | — | △20 人 |

※役員（専務理事、医療監）及び5所属所長（山形、庄内、最上、米沢、南陽）の7名を除き集計。

※医療技術職の管理職3名（技師長除く）は事務職に集計。

※H28年度内中途退職（正規事務職）1名含む。

※嘱託職員は年間の雇用人数。

※上段は平成29年3月31日の人数、下段は対前年度との増減人数を記載。

附属明細書

当該事業報告の記載をもって、附属明細書の記載を省略します。